

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名: **CT-3000JSシリーズ**

(コロテクト™ CT-3000JS SM、コロテクト™ CT-3000JS W)

製品種類: 塗料

使用上の制限: 業務用

会社名: シーカ・ジャパン株式会社

住所: 東京都港区元赤坂1丁目2番7号 赤坂Kタワー7F

電話: 03-6434-7291

緊急連絡先電話: Sikaテクニカルセンター 047-436-0811

SDS No.:

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 3

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 分類できない

急性毒性(経皮): 分類できない

急性毒性(吸入): 区分 4

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2

呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: 分類できない

生殖細胞変異原性: 区分 1B

発がん性: 区分 1B

生殖毒性: 区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1(中枢神経系)、区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(呼吸器系、肝臓、神経系、血液)、区分 2(副腎、腎臓)

誤えん有害性: 分類できない

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

オゾン層への有害性: 分類できない



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

吸入すると有害

皮膚刺激

強い眼刺激

遺伝性疾患のおそれ

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害(中枢神経系)
呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系、肝臓、神経系、血液)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(副腎、腎臓)
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面などの個人用保護具を着用する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。一禁煙。
容器を接地する/アースをとる。
静電気放電に対する予防措置を講ずる。火災を発生しない工具を使用する。
取扱い後は手洗い・うがいをする。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。
環境への放出を避ける。容器は密閉しておく。

応急措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受ける。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。
漏出物を回収する。

保管

施錠して保管する。
直射日光、凍結を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物
化学名 : ビニルエステル樹脂

成分名	含有量(%)	CAS No.
ビニルエステル	50-55	非公開
スチレン	43-48	100-42-5
メタクリル酸	<1.5	79-41-4
エチルベンゼン	0.3-<0.7	100-41-4
キシレン	0.2-0.6	1330-20-7
エタノール	0.1-<0.3	64-17-5
2-エチルヘキサン酸コバルト	0.1-<0.2	136-52-7

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに新鮮な空気のある場所に移し、毛布などで保温して安静にさせる。
状態が悪ければ、医師の手当てを受ける。

皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染した衣類や靴を脱ぎ、付着部分を布でよく拭き、その後石鹸を用い、水もしくは温水でよく洗い落とす。
炎症が生じた場合は医師の手当てを受ける。

目に入った場合

直ちに流水で15分以上洗眼した後、眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないで、水でよく口の中を洗い、直ちに医師の手当てを受ける。嘔吐が起こったときは、気管への吸入が起きないように身体を傾斜させる。肺に入ると肺を傷つけるおそれがある。

最も重要な徴候及び症状

眼・皮膚に発赤、めまい、頭痛、吐き気、脱力感、意識低下、喘息、肺水腫の症状を起こす。喘息、肺水腫の症状は遅くなって現れる場合が多く、安静に保たないと悪化する。

応急措置をする者の保護

火気に注意する。眼、皮膚のばく露を防ぐため、保護眼鏡、耐油性保護手袋などの保護具を着用する。蒸気の吸入を防ぐため呼吸用保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤

不適切な消火剤

棒状注水

特有の危険有害性

加熱により容器が爆発するおそれがある。火災によって刺激性、有毒ガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

初期の火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災の際には、耐アルコール性泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却する。移動可能な容器は、すみやかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護

消火作業の際には、有害なガスを吸い込まないように自給式呼吸器等の保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には、必ず保護具を着用し、風上から作業する。処理作業の際には、保護具(耐油性保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具等)を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、ガス、蒸気を吸入しないようにすること。風上から作業し、風下の人を退避させること。着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。

環境に対する注意事項

漏出物が、河川、下水、排水路等に流れ込むのを防止する。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

少量の場合、乾燥砂、おがくず、ウエス等で拭き取り、密閉できる容器に回収する。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、密閉できる容器に回収する。残った液は、乾燥砂、おがくず、ウエス等で拭き取り、密閉できる容器に回収する。

二次災害の防止策

付近の着火源を速やかに取り除き、着火した場合に備え消火器を準備する。河川、下水、排水路等へ流出した場合、直ちに地方自治体の公害関連部署に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行ない、保護具を着用する。

(火災・爆発の防止)

取り扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

局所排気、全体換気

取扱う場合は、局所排気内または全体換気の設備のある場所で取扱う。

注意事項

局所排気装置の設置された場所で作業する。

安全取扱注意事項

本SDSを読み理解してから取り扱う。火気厳禁。火気、火花を発生するものや、高温着火源の付近で使用しない。容器を無理に転倒させたり、衝撃を加えたり、または引きずる等の乱暴な取扱いをしない。接触、吸入及び飲み込まない。眼に入れない。取扱い後はよく手を洗うこと。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

容器は直射日光を避け、通風の良い、冷暗所に保管する。消防法、労働安全衛生法等の法令に従う。

避けるべき保管条件

火気厳禁。直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて保管する。

配合禁忌

データなし

容器包装材料

消防法及び国連危険物輸送に関する勧告で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

(スチレン) 20ppm

(キシレン) 50ppm

許容濃度

(スチレン) 日本産業衛生学会 20ppm(85mg/m³)(皮)、ACGIH TWA 10ppm、STEL 20ppm

(メタクリル酸) 日本産業衛生学会 2ppm(7.0mg/m³)、ACGIH TWA 20ppm、STEL -

(エチルベンゼン) 日本産業衛生学会 50ppm(217mg/m³)、ACGIH TWA 20ppm、STEL -

(キシレン) 日本産業衛生学会 50ppm(217mg/m³)、ACGIH TWA 100ppm、STEL 150ppm

(エタノール) ACGIH TWA -, STEL 1000ppm

(2-エチルヘキサン酸コバルト) 日本産業衛生学会 0.05mg/m³ (Coとして)

設備対策

労働衛生法上の規制に従って、可能な場合には、換気設備などの施設上の技術的な対策を講じて作業者を保護しなければならない。取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

有機ガス用防毒マスク、送気マスク、自給式呼吸器

手の保護具

保護手袋を着用する。

着用すべき手袋の材質: 不浸透性の耐油性手袋(アクリロニトリル、ブチルゴム、ネオプレン系)

眼の保護具

側板付の保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具

帯電防止型の保護衣、保護靴及び必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。

取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。

また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は、良く手洗いうがいをする。
この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：粘稠液体
色：赤紫色
臭い：芳香族炭化水素臭
融点/凝固点：-30.6°C(スチレン)
沸点又は初留点及び沸点範囲：145°C(スチレン)
可燃性：データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：
 下限：0.9Vol%(スチレン)
 上限：6.8Vol%(スチレン)
引火点：32°C(推定値)
自然発火点：490°C(スチレン)
分解温度：データなし
pH：該当しない
粘度：コロテクト™ CT-3000JS SM: 0.4-0.7 Pa·s (25°C)、コロテクト™ CT-3000JS W: 0.3-0.5 Pa·s (25°C)
動粘性率：データなし
溶解度
 水に対する溶解度：水に不溶、アセトン等の有機溶剤に可溶
n-オクタノール/水分係数：2.95 (スチレン)
蒸気圧：0.7 kPa (20°C) (スチレン)
蒸気密度：データなし
密度及び/又は相対密度：1.0-1.2g/cm³ (25°C)
相対蒸気密度(空気=1)：3.59 (計算値) (スチレン)
粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

安定性
 密閉状態で、冷暗所では安定である。
危険有害反応可能性
 熱、光等により重合反応を起こす。
避けるべき条件
 加熱、光、静電気の発生を防ぐ。通気性のある材料の使用は避ける。
 構成成分に対して透過性のある材料や可溶性材料の使用は避ける。
混触危険物質
 硬化に過酸化物を使用する際は、過剰量を混触しない。
危険有害な分解生成物
 加熱分解により一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関連した症状
急性毒性

経口毒性成分データ

- (スチレン) ラット LD50 5000 mg/kg (ECHA、初期リスク評価書)
- (メタクリル酸) ラット LD50 1060~2260 mg/kg (初期リスク評価書)
- (エチルベンゼン) ラット LD50 3500~4700 mg/kg (初期リスク評価書)
- (キシレン) ラット LD50 3500~8640 mg/kg、マウス LD50 5300mg/kg、5600mg/kg(初期リスク評価書)
- (エタノール) ラット LD50 7000~11000mg/kg(SIDS)、マウス LD50 8300mg/kg(SIDS)
- (2-エチルヘキサン酸コバルト) ラット LD50 1.22 g/kg (US HPV、RTECS)

経皮毒性成分データ

- (スチレン) ラット LD50 >2000 mg/kg (ECHA)
- (メタクリル酸) ウサギ LD50 500~2000 mg/kg (初期リスク評価書)
- (エチルベンゼン) ウサギ LD50 15400 mg/kg (初期リスク評価書)
- (キシレン) ウサギ LD50 >114mg/kg(初期リスク評価書)、4300mg/kg(ACGIH)
- (エタノール) ウサギ LDLo 20000 mg/kg (SIDS)
- (2-エチルヘキサン酸コバルト) モルモット LD50 >5 g/kg (US HPV、RTECS)

吸入毒性成分データ

- (スチレン) ラット 蒸気 LC50(4hr) 11.8mg/L、マウス 蒸気 LC50(2hr) 21mg/L (ECHA、初期リスク評価書)
- (メタクリル酸) ラット LC50 1981 ppm/4hr (初期リスク評価書)
- (エチルベンゼン) ラット LC50(4hr) 4000ppm (17.2mg/L) (初期リスク評価書)
- (キシレン) ラット LC50(4hr)6400~6700ppm(27.6~29mg/L)(初期リスク評価書)
- (エタノール) ラット LC50(4hr)63000ppmV(DFGMAK)、124.7mg/L(SIDS)、LCLo(7hr)>29.43mg/L(SIDS)
- (2-エチルヘキサン酸コバルト) ラット ミスト LC50(1hr)>10mg/L (エアロゾル)(US HPVe、RTECS)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性成分データ

- (スチレン) 液体スチレン 皮膚刺激 (SIDS)
- ウサギ 皮膚刺激性試験 著しい皮膚刺激及び部分的な変性 (ECHA、初期リスク評価書)
- (メタクリル酸) ウサギ 皮膚刺激性試験(3 分間) 腐食性(初期リスク評価書)
- (エチルベンゼン) ウサギ 皮膚刺激性試験 軽度の刺激性(初期リスク評価書)
- (キシレン) マウス/モルモット/ウサギ 皮膚刺激性試験 中等度から強度の刺激性(初期リスク評価書)
- モルモット/ウサギ 皮膚刺激性試験(単回適用) 紅斑、浮腫、落屑、壊死(初期リスク評価書)
- (エタノール) ウサギ 皮膚刺激性試験(OECD TG404、4 時間) 刺激性なし(SIDS)
- (2-エチルヘキサン酸コバルト) in vitro 皮膚刺激性試験 (OECD TG439) 刺激性なし (ECHA)

眼損傷性/刺激性成分データ

- (スチレン) 液体と蒸気のスチレン 眼刺激 (SIDS)
- ウサギ 眼刺激性試験 中等度の結膜刺激及び損傷(7日間持続) (ECHA、初期リスク評価書)
- (メタクリル酸) ウサギ 眼刺激性試験 角膜混濁他(7日後も回復せず)、化学火傷、角膜上皮の壊死脱落等(初期リスク評価書)
- (エチルベンゼン) ウサギ 眼刺激性試験 軽度の角膜刺激 角膜影響なし(初期リスク評価書)
- (キシレン) ウサギ 眼刺激性試験 軽度の結膜刺激性、軽微の角膜壊死、間代性眼瞼痙攣(初期リスク評価書)
- ウサギ 眼刺激性試験 軽度~中等度の刺激性(初期リスク評価書)
- (エタノール) ウサギ 眼刺激性試験(OECD TG405) 中等度の刺激性(SIDS)
- ウサギ 眼刺激性試験 角膜混濁/結膜浮腫等(7 日以内に回復)(ECETOC)
- ウサギ 眼刺激性試験(100 μL) 重度の刺激性(未洗浄)(IUCLID)
- (2-エチルヘキサン酸コバルト) ウサギ 眼刺激性試験 軽度~重度の結膜炎等(14日以内に回復) (ECHA)
- in vitro 眼刺激性試験(OECD TG 437) 重度の刺激性ではない (ECHA)

感作性

呼吸器感作性成分データ

- (エタノール) 軽度の喘息患者 吸入誘発試験 重度の気管支収縮(アレルギー由来でない)(DFGMAK)
- (コバルト化合物)ドイツDFG MAK Sah(気道および皮膚感作性の危険がある)

皮膚感作性成分データ

- (エチルベンゼン) ヒト 皮膚感作性試験 陰性(SIDS)
- (キシレン) ボランティア(24 人) 皮膚感作性試験 感作性なし(初期リスク評価書)
- (エタノール) ヒト アレルギー反応による接触皮膚炎等(DFGMAK)
- モルモット/マウス 皮膚感作性試験(マキシマイゼーション法、MEST 試験) 感作性なし(IUCLID)
- (コバルト化合物) ドイツDFG MAK Sah(気道および皮膚感作性の危険がある)、35年間暴露された男性

パッチテスト 塩化コバルトにアレルギー反応(HSDB)

生殖細胞変異原性

(スチレン) マウス吸入ばく露 姉妹染色分体交換試験 陽性(ECHA、初期リスク評価書)
マウス吸入ばく露 不定期DNA 合成試験 陰性(ECHA)、ヒトリンパ球 染色体異常試験 陽性(ECHA、初期リスク評価書)、サルモネラ菌 エームス試験 陽性(ECHA、初期リスク評価書)
(メタクリル酸) サルモネラ菌 エームス試験 陰性(初期リスク評価書)
(エチルベンゼン) マウス吸入暴露/腹腔内投与 in vivo 小核試験 陰性、サルモネラ菌/大腸菌 エームズ試験 陰性、CHO細胞 染色体異常試験 陰性(初期リスク評価書)
(キシレン) マウス in vivo 小核試験(腹腔内投与) 陰性、ラット 染色体異常試験(9~18 週間吸入暴露) 陰性、サルモネラ菌/大腸菌 エームス試験 陰性、ヒトリンパ球/CHO 細胞 染色体異常試験/姉妹染色分体交換試験 陰性(初期リスク評価書)
(エタノール) ラット/マウス 優性致死試験(経口投与) 陽性(SIDS、IARC)
ラット in vivo 染色体異常試験/小核試験(飲水投与) 陰性(SIDS、IARC)
(2-エチルヘキサン酸コバルト) マウスリンフォーマ試験 陰性 (ECHA)
マウス in vivo 小核試験(経口投与) 陰性 (US HPV Challenge、ECHA)
(エチルヘキサン酸の情報) マウス in vivo 小核試験 陰性 (ECHA)
(塩化コバルトの情報) ラット in vivo 染色体異常試験/小核試験(経口投与) 陰性 (ECHA)

催奇形性 :データなし

発がん性

(スチレン) IARC グループ2A (おそらくヒト発がん性がある)
NTP R (合理的にヒトに対して発がん性があることが予想される物質)
(エチルベンゼン) IARC グループ2B(ヒトに対して発がん性の可能性のある物質)
ACGIH A3(ヒトへの関連性は不明であるが、動物実験で発がん性が確認された物質)
(キシレン) IARC グループ3(ヒトに対する発がん性については分類できない)
ACGIH A4(ヒトに対して発がん性が分類できない物質)
(エタノール) (アルコール飲料)IARC グループ1(ヒトに対して発がん性を示す)
ACGIH A3(動物に対して発がん性が確認された物質であるが、ヒトへの関連性は不明)
(2-エチルヘキサン酸コバルト)
(コバルト化合物) IARC グループ2B(ヒトに対して発がん性がある可能性がある)
(生体内でコバルトイオンを放出するもの) NTPの発がん性評価:R(合理的にヒト発がん性因子であることが予測される)

生殖毒性

(スチレン) ラット3世代生殖毒性試験(飲水投与) 250ppm 生殖パラメータ 有害影響なし(ECHA、初期リスク評価書)、ラット2世代生殖毒性試験(吸入ばく露) 2.13mg/L 嗅上皮の変性 生殖パラメータ 有害影響なし(ECHA)、妊娠6~21 日のラット 吸入ばく露試験 300ppm 親毒性なし、児の神経発達の遅延(ECHA、初期リスク評価書)、妊娠6~16 日のマウス吸入ばく露試験 250ppm 胚/胎児死亡率とF1世代に骨格変異の増加(ECHA、初期リスク評価書)、雄ラット60日間経口投与試験 200mg/kg/日 精巣上体の精子数の減少等、NOAELは100mg/kg/日(初期リスク評価書)
(メタクリル酸) ラット/マウス90日間吸入暴露試験 最大濃度1071mg/m3 生殖器影響なし(環境省リスク評価)
(エチルベンゼン) 妊娠6~15日のラット吸入暴露試験 500mg/m3: 児の骨格形成遅延、尿路系の異常発生率の増加(初期リスク評価書)、妊娠6-15 日のラット 吸入暴露試験 600mg/m3 以上: 胚吸収率の増加、児の骨格形成遅延 2400mg/m3: 児の過剰肋骨の増加等(初期リスク評価書)
(キシレン) 妊娠6~15日のマウス 経口投与試験 2.06g/kg/日以上: 胎児で奇形(口蓋裂等)増加(初期リスク評価書)、妊娠4~20日のラット 吸入暴露試験 870mg/m3: 胎児で上顎骨の骨化遅延、出生児で運動能力の障害(初期リスク評価書)、妊娠1~21日のラット吸入暴露試験 50mg/m3以上: 胎児で吸収胚増加や骨化遅延、骨格変異増加、500mg/m3: 血腫、小眼、水頭症(初期リスク評価書)
(エタノール) 一定量以上の飲酒 流産の発生や発生のリスクの増加(IARC)、妊娠期間中のラット経口投与試験 多指症、多合指症などの奇形(IARC)、妊婦 慣習的な飲酒 胎児: 胎児性アルコール症候群(小頭症、精神障害など)(IARC、SIDS)、妊婦 出生前のエタノール摂取 口蓋裂、心房心室中隔欠損等、大量摂取: 催奇形性と胎児毒性(SIDS)
(2-エチルヘキサン酸コバルト)
(2-エチルヘキサン酸の情報) 児ラットの骨格異常のメカニズム: 本物質が母動物の肝臓で亜鉛結合タンパクの合成を誘導し、それが胎児の亜鉛欠乏を引き起こすことによる(ACGIH、ECHA(CoRAP))、ラット 拡張一代繁殖毒性試験(混餌投与) 800 mg/kg/day: 生殖パラメータ、発達性神経毒性及び免疫毒性に影響な

L(ECHA)、妊娠6～15 日ラット 経口投与試験 250 mg/kg/day 以上:骨化抑制、発生毒性、NOAEL=100 mg/kg/day (ECHA)、妊娠6～18 日ウサギ 経口投与試験 250 mg/kg/day:親の運動失調や咳等、胚毒性や内臓および骨格の異常に対照群との差なし(ECHA)、妊娠6～19 日ラット 経口投与試験 100 mg/kg/day 以上:児の内反肢、多指、骨格異常 (ECHA)

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性 単回暴露 成分データ

(スチレン) マウス/ラット/モルモット 吸入ばく露試験 振戦、意識消失等の中枢神経への影響、眼、鼻、肺の刺激(初期リスク評価書)、ボランティア1.5 時間吸入ばく露試験 50mL/m³ 以上 視覚刺激、聴覚刺激に対する反応の遅延(初期リスク評価書)

(メタクリル酸) ボランティア 吸入暴露試験 0.4～3mg/m³:眼や上気道の刺激(初期リスク評価書)

(エチルベンゼン) マウス 吸入暴露試験 1430～8000ppm:流涙、呼吸数減少、中枢神経系への影響(初期リスク評価書)、ヒト 2000ppm:眼、鼻の痛み、胸の狭窄感、めまい(ACGIH)

(キシレン) ラット 経口投与試験 約6000mg/kg 以上:中枢神経影響(鈍麻、知覚まひ、昏睡)、死亡(初期リスク評価書)、マウス/ラット/モルモット 吸入暴露試験 呼吸数減少、呼吸器の刺激、肺の浮腫や出血、肺の炎症等(初期リスク評価書)、ヒト 数時間暴露 約10000ppm:重度の肺うっ血、肺浮腫、肝臓の腫大、鬱血、肝臓障害、重度の腎障害、記憶喪失(初期リスク評価書)、ヒト 静注 重度の呼吸障害(初期リスク評価書)

(エタノール) ヒト 吸入ばく露試験 昏迷、傾眠、軽度の麻痺(ACGIH)、ヒト 吸入ばく露(蒸気) 低濃度:眼や上気道刺激(ACGIH)、ヒト 重度の中毒:筋失調、霧視、昏迷、嘔気、痙攣、呼吸抑制等、呼吸または循環器不全や胃内容物吸引による死亡(PATY)

(2-エチルヘキサン酸コバルト) ラット 経口投与試験 1750mg/kg 異常なし、5000mg/kg 不規則呼吸、死亡(ECHA)

特定標的臓器毒性 反復暴露 成分データ

(スチレン) 長期間吸入ばく露 慢性気管支炎、閉塞性肺障害や胃の消化機能低下(初期リスク評価書)

樹脂工場従業員(推定100～300ppm ばく露) 血小板数の減少等(初期リスク評価書)

10～300ppm ばく露従業員 精神神経学的機能検査で機能低下(初期リスク評価書)

マウス13週間吸入ばく露試験 0.43mg/L 以上 肺の異常、0.64mg/L 以上 肝臓の炎症

NOAEC=0.21mg/L (ECHA)

マウス28日間吸入ばく露試験 0.69mg/L 気管支、聴覚器官の変性 NOAEC=0.18mg/L (ECHA)

(メタクリル酸) 労働者 作業環境濃度20～80mg/m³:血小板の減少、指の振戦等、神経系の症状(初期リスク評価書)、マウス 90 日間吸入暴露試験 100ppm 以上:鼻腔嗅上皮変性、300ppm:鼻炎、白血球数減少、腎臓尿管上皮の巨大細胞化 NOAEL=20ppm(初期リスク評価書)、ラット 6ヶ月間経口投与試験

5mg/kg/day:反射能低下、肝臓や腎臓、副腎の委縮、赤血球減少 NOAEL=0.05mg/kg/day(初期リスク評価書)

(エチルベンゼン) ラット6ヶ月間経口投与試験 408mg/kg/日以上:肝細胞と上皮細胞の混濁腫脹(初期リスク評価書)、マウス103週間吸入暴露試験 75ppm:肝臓の合胞体細胞増加 750ppm:甲状腺ろ胞細胞の過形成、肺胞上皮細胞の化生、肝細胞肥大の増加等 LOAELは75ppm(初期リスク評価書)

(キシレン) 1.5～18 年暴露されたヒト慢性頭痛、胸部痛、脳波の異常、呼吸困難、手のチアノーゼ、白血球数減少、肺機能低下、及び精神障害等(初期リスク評価書)、職場での慢性暴露 努力呼吸、肺機能障害(初期リスク評価書)、7 年間暴露された労働者 平均21ppm:眼、鼻、喉の刺激、中枢神経系の症状(不安、物忘れ、注意力散漫)(環境省リスク評価)

(エタノール) ヒト 長期大量摂取:ほとんど全ての器官に悪影響、標的器官は肝臓(脂肪肝、肝壊死、肝硬変)

(DFGMAK)、重度のアルコール依存症患者 振戦、痙攣等の禁断症状、脱力、不安等を伴う反射亢進等(HSDB)

(2-エチルヘキサン酸コバルト)

(塩化コバルト(6 水和物)の情報) ラット90日間飲水投与試験 10mg/kg/day以上 赤血球の増加、血小板の減少等 NOAEL=3mg/kg/day (ECHA)

(硫酸コバルト(7水塩)の情報) ラット及びマウス105週間吸入ばく露試験 0.3mg/L:咽頭扁平上皮の化成(ECHA)

(2-エチルヘキサン酸の情報) ラット及びマウス13週間経口投与試験 餌中0.5%以上:肝細胞の肥大等(ECHA)

誤えん有害性

(スチレン) 誤嚥 化学性肺炎のおそれ(ICSC)

(エチルベンゼン) 誤嚥 化学性肺炎のおそれ(ICSC)

(キシレン) 誤嚥 化学性肺炎のおそれ(ICSC)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性成分データ

(スチレン)

魚類(ファットヘッドミノール)LC50(96hr) 4.02mg/L(ECHA、環境リスク評価)
甲殻類(オオミジンコ)EC50(48hr) 4.7mg/L、NOEC(21day) 1.01mg/L (ECHA、環境リスク評価)
藻類(ムレミカツキモ)ErC50(72hr) 4.9mg/L、ErC10(96hr) 0.28mg/L (ECHA)

(メタクリル酸)

魚類(ニジマス) LC50(96hr) 85mg/L(初期リスク評価書)
甲殻類(オオミジンコ) EC50(48hr) >130mg/L、NOEC(21day) 53mg/L(初期リスク評価書)
藻類(ムレミカツキモ) ErC50(72hr) 14mg/L、NOEC(72hr)8.2mg/L(初期リスク評価書)

(エチルベンゼン)

魚類(ニジマス)LC50(96hr)4.2mg/L、(ファットヘッドミノール)LC50(96hr)12.1mg/L(初期リスク評価書)
甲殻類(オオミジンコ)LC50(48hr)1.8~2.9mg/L(初期リスク評価書)
藻類(緑藻類)EC50(72hr)4.6mg/L(初期リスク評価書)

(キシレン)

魚類(ファットヘッドミノール)LC50(96hr)26.7mg/L、(ニジマス)LC50(96hr)3.3mg/L(初期リスク評価書)
甲殻類(オオミジンコ)EC50(24hr)75mg/L(初期リスク評価書)
藻類(ムレミカツキモ)ErC50(14day)72mg/L、NOErC(24~72hr)9.2mg/L(初期リスク評価書)

(エタノール)

魚類(ファットヘッドミノール)LC50(96hr)>100mg/L(SIDS)
甲殻類(ネコゼミジンコ)LC50(48hr)5012mg/L(SIDS)
藻類(クロレラ)EC50(96hr)1000mg/L(SIDS)

(2-エチルヘキサノール)

甲殻類(ニセネコゼミジンコ) NOEC(7day) 0.02mg_{Co}/L (ECHA)
藻類(ムレミカツキモ)ErC50(72hr) 0.654mg/L (0.11mg_{Co}/L)、NOErC(72hr) 0.15mg/L (ECHA)

(塩化コバルト(6水和物)の情報)

藻類(ムレミカツキモ)ErC50(72hr) 0.144mg_{Co}/L、NOErC(72hr) 0.023mg_{Co}/L (ECHA)

水溶解度 :データなし

残留性・分解性

(スチレン) 生分解性試験(2週間)良分解性(既存点検、ECHA)
生分解性試験(10日間、OECD TG301F)分解率 68%(ECHA)
(メタクリル酸) 生分解性試験(2週間) 良分解性(既存点検)
(エチルベンゼン) 生分解性試験(4週間) 良分解性(分解率100%(HPLC法))(既存点検)
(キシレン) (3種類の異性体等量混合物)生分解性試験(2週間) 分解率39%(BOD法)(初期リスク評価書)
(エタノール) 生分解性試験(2週間) 良分解性(既存点検)

生体蓄積性

(スチレン) BCF=74(計算値)(ECHA)、41(計算値)(環境リスク評価)、log Pow=2.96(測定値)(ECHA)
(メタクリル酸) BCF=0.2(計算値)、logPow=0.93(測定値)、0.99(計算値)(初期リスク評価書)
(エチルベンゼン) logPow=3.15(測定値)(初期リスク評価書)
(キシレン) BCF=6.2~21(環境省リスク評価)、(各異性体)log Pow=3.12~3.20(測定値)(初期リスク評価書)

土壌中の移動性

(スチレン) Koc=352(計算値)(ECHA、環境リスク評価)
(メタクリル酸) Koc=15(HSDB)
(エチルベンゼン) Koc=164(初期リスク評価書)
(キシレン) Koc=39~2600(測定値)(初期リスク評価書)

オゾン層破壊物質 :データなし

その他情報

その他の環境有害性情報 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与えるおそれがあるので取り扱いに注意する。
特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収

集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

汚染容器及び包装

空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 :1866

クラス :3

容器等級 :Ⅲ

正式品名 :樹脂液

指針番号 :128

輸送の特定の安全対策及び条件

容器の破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。火気厳禁。

陸上輸送 :消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。

海上輸送 :船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 :航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

該当する化学品を意図的的成分として含有せず、購入原料に不純物として含有するとの情報を受けていません。

労働安全衛生法

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物(平成26年6月1日以前)

スチレン; エチルベンゼン; キシレン

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物(平成26年6月1日施行分より)

スチレン; エチルベンゼン; キシレン

施行令18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物

スチレン; エチルベンゼン; キシレン; エタノール; コバルト及びその化合物; メタクリル酸

別表第1 危険物(第1条、第6条、第15条関係)

危険物・引火性の物

特定化学物質障害予防規則 第2類物質(特別有機溶剤等)

スチレン

有機溶剤中毒予防規則

該当しない

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質:

スチレン(コロテクト™ CT-3000JS SM: 45%、コロテクト™ CT-3000JS W: 46%)

メタクリル酸(コロテクト™ CT-3000JS SM: 1.0%、コロテクト™ CT-3000JS W: 1.0%)

消防法

第4類 引火性液体第2石油類 危険等級Ⅲ 非水溶性液体

悪臭防止法

特定悪臭物質(施行令第1条):

スチレン、キシレン

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

海洋汚染防止法

有害液体物質(混合物)

16. その他の情報

参考文献

JIS Z 7252, JIS Z 7253 : 2019

Supplier's data/information

化学物質総合情報提供システム(独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE)

責任の限定について

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。

注意事項は、通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な手扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上